



発行日 平成30年2月15日



No.12

シンプルですが改めて考えさせられた言葉

校長 宮 居 伝

三学期も折り返しを過ぎ、いよいよ卒業・修了の 때가 間近になってきました。各学年のまとめの時期を迎えるとともに、第6学年ではキャリア教育など、節目を迎えた子どもたちへの取組も進めています。各分野で活躍されている先輩たちから、仕事や生き様を学ぶ貴重な機会となっています。

このようななか、大変シンプルな言葉のなかに「なるほど!」と改めて考えさせられた言葉を紹介します。

一つ目は、将棋界で「永世竜王」「永世七冠」を達成した羽生善治竜王の言葉です。

□初心忘れるべからず

羽生善治竜王は、竜王就位式のなかで『初心忘れるべからず』という言葉があります。将棋を覚えた時、棋士を志した時、初タイトルを獲得した時、今日のような節目など、それぞれの一番最初の気持ちを忘れずに前に進んでいきたい。」と語られていました。

また、本校のキャリア学習のなかで、ゲストティチャーとしてお招きした地元で仕事をされている調理師の小林晃さんと堀川卓次さんは「何でも基礎が大事。基礎がしっかりしていれば応用ができ、失敗しても伸びることができる。」と、子どもたちに話してくださいました。

少し意味合いは違うかもしれませんが、『初心・基礎基本』は大切にしたいことであるにもかかわらず、ついつい忘れがちになっていることを省みるひと言であると思います。

二つ目は、1月22日・23日に、5年生の子どもたちが『びわ湖フローティングスクール』で乗船した学習船『うみのこ』の鈴木雅美船長の言葉です。当日は、子どもたちの前で話していただく機会はありませんでしたが、船長は、次の言葉をよく話されます。

□自然は常に私たち人間の上にある

「人間の力が及ばない自然の偉大さ」を耳にし、何となくわかったような気になっている私ですが、毎日、琵琶湖上で仕事をされている鈴木さんの言葉だけに心に残りました。科学がどれだけ進歩しようとも、自然を甘く見てはいけないし逆らえない、わたしたち人間の力では超えられない偉大なものであることを伝えてくださっています。

子どもたちが乗船した二日間は、晴れ間になったかと思うと急変して雪が降ったり、風が強まったりと、湖上から、この言葉を実感したのではないかと思います。

それぞれの方々の言葉は、大変シンプルです。頭では、わかったような気になっている自分にとって、はっとした気づき・ふり返りを与えてもらうひと言でした。長年携わっておられる方々が話された言葉だけに、改めてその重みを感じました。

ビョンチャン

今、韓国・平昌では、冬季オリンピックが開催され、また、まもなくパラリンピックも行われます。選手が口にする言葉の中にも、シンプルですが、はっとするひと言があるように思います。そんな目でも観戦しながら、選手のみなさんの活躍を期待したいものです。



調理師の方から学ぶ



船上からの沖島展望

登下校の安全確保へのご協力 ありがとうございます!

能登川駅前での事件にかかる子どもたちの登下校の安全確保につきまして、保護者のみなさまをはじめ、民生委員児童委員や多数のボランティアの方々などに、大変お世話になっております。ここに厚くお礼申しあげます。

未だ容疑者発見の報には至っておらず、心配されるなか、できる範囲での引き続きの安全確保へのご協力をどうかよろしくお願いいたします。地域に見守られ、支えられながら育つ子どもたちであることに、改めて感謝いたしております。ほんとうにありがとうございます。



今後の主な行事予定

- 2月16日(金) 学習参観日②低学年③中学年④高学年
- 19日(月) 委員会活動(5・6年)
- 20日(火) 教育相談日
- 21日(水) 全校集団下校
- 22日(木) 教育相談日 6年薬物乱用防止教室
- 26日(月) クラブ活動最終(4・5・6年)
- 27日(火) 6年バイキング給食
- 3月 2日(金) 6年生を送る会・たてわりお別れ会
- 5日(月) 委員会活動(5・6年)
- 7日(水) 地区別児童会 全校集団下校
- 19日(月) 給食終了
- 20日(火) 卒業証書授与式
- 23日(金) 修了式
- 30日(金) 離任式

